



JAMP

JA's Message for the People

こんにちは!「JAえちご上越」です(*^_^*)
JAは、農業協同組合(農協)のニックネーム。新潟県内には23のJAがあり、上越市・妙高市では「JAえちご上越」が、農業のサポートを行ったり、地域の皆さんの生活に役立つ事業を行ったりしています。
今月から11月まで毎月1回、農業やJAからメッセージをお届けします!

今月のテーマ 農業=食べものをつくるだけじゃない!? みんなの暮らしを支える農業・農村の役割

農業は、私たちの生活に必要な米や野菜などを生産する役割を果たしています。それだけでなく、地域で農業が継続して行われることにより、私たちの生活にいろいろな「めぐみ」をもたらしています。この「めぐみ」は「農業・農村が持つ多面的機能」と呼ばれています。

洪水を防ぐ

あぜに囲まれた田んぼや、よく耕された畑の土壌は、雨水を一時的にためておくことができます。農地はダムのように洪水を防止する役割を担っています。



一度に川に流れる水量を減らすことができる!

土砂崩れや土の流出を防ぐ

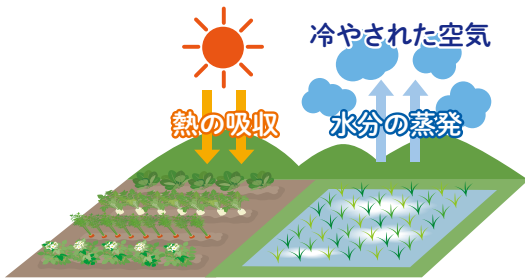
斜面につくられた田畑は、土砂崩れを未然に防止しています。また、雨や風から土壌を守り、下流域へ土が流出するのを防ぐ働きがあります。

大雨が降ると、手入れをしていない田畑には水がたまり、土砂くずれが起きやすくなる!



暑さを和らげる

田畑の作物は、気温を下げる働きがあります。水田では、水面からの水分の蒸発や、稲からの水分の蒸散により、空気が冷却され、この冷涼な空気は周辺市街地の気温上昇を抑える効果もあります。



農業・農村が持つ多面的機能の働き

河川の流れを安定させ、地下水をつくる

田んぼにたまった雨水などは、一部は排水路から河川に戻り、一部は地下へ染み込み、湧き出して河川に戻ります。これにより河川の水量が安定し、良質な地下水が利用できます。

伝統文化を保存する

農業が営まれることで、田畑で育った作物と農家の家屋、周辺の水辺や里山が一体となった美しい風景が形成されます。また、五穀豊穡を祈願するものなど、農業に由来する祭りや伝統行事も多く、長い間受け継がれています。



第3回JAえちご上越フォトコンテスト入賞作品より

生きものの住みかになる

田畑は多様な生物の保全に大きな役割を果たしています。

例えば、田んぼには堆肥などの有機物を分解する微生物が繁殖し、その微生物を小魚が食べ、その小魚を水鳥が食べる。食べたり、食べられたりする「食物連鎖」により、多くの生物が集まってくる!



参考資料: 農林水産省「農業・農村の有する多面的機能」
(http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/)

実りの秋をみんなで楽しもう! 第18回 新米まつりのお知らせ

新米

令和元年産の「えちご上越米」の特価販売やガラポン抽選会、新米つかみどり大会、来場者サービスなど、収穫の秋ならではのイベントをご用意しています。

- 日時 令和元年10月5日(土) 午前9時30分~午後2時30分
- 会場 上越あるん村(上越市大道福田639)

※詳しくは、10月4日金の新聞折り込みチラシをご覧ください。

「えちご上越米」10kgお買い上げごとに、雪室人参ドレッシングやフルーツセットなどが当たるガラポン抽選券を1枚進呈!



明日の農業の担い手を求む 農業後継者育成雇用制度による職員を募集します

(令和2年4月採用)

- 応募資格 おおむね40歳以下の、JAえちご上越組合員または組合員のご子弟。雇用期間終了後、農業経営を継続もしくは就農を確約できる方。
- 募集人数 3名程度
- 雇用形態 原則3年の有期雇用契約(3年後、契約の更新はいたしません)
- 待遇 当組合の規定による。(各種社会保険に加入)
- 応募期間 令和元年11月30日(土)まで(定員に達した場合、応募を締め切ります)
- お問い合わせ先 JAえちご上越 人事教育課(TEL:025-527-2001)



今回のキーワード 「協同のこころ」

※3回連続でキーワードをお知らせします。詳しくは11月の紙面で!

JAえちご上越 総務部企画課
〒943-0817 上越市藤巻5番30号
TEL:025-527-2001 FAX:025-527-2009
ホームページ <http://www.ja-echigojoetsu.or.jp>
Facebook えちご上越 で検索!